



2026 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ

ROUND 2

SUPERBIKE RACE in SUGO



- 宮城県
- スポーツランドSUGO
- 1周=3.6211km

- クラス / JSB1000
- マシン / BMW M1000RR
- タイヤ / BRIDGESTONE

JSB1000 44 関口 太郎

RACE 1

4月25日(土) 天候: 晴れ コース: ドライ

- 予選 12 番手 (タイム: 1分27秒099)
- 決勝 11 位

RACE 2

4月26日(日) 天候: 晴れ コース: ドライ

- 予選 12 番手 (タイム: 1分27秒276)
- 決勝 11 位



三明電気工事



レース2に自己ベストを更新！ 両レースで着実にポイントを重ねる

シリーズ第2戦が宮城県・スポーツランドSUGOで4月25日・26日に開催された。開幕戦から3週間のインターバルがあったが、前週には、事前公開テストがあり、忙しいスケジュールとなっていた。昨年に比べると約1か月早い時期の開催となったため、気温は上がらず、まだ桜が咲いている気候。SUGOは、左コーナーの少ないレイアウトとなっており、路面温度が低いと難しいコンディションとなる。さらに風が冷たく、タイヤが冷えてしまうことも少なくなく、実際に転倒したライダーも多かった。



新型BMW M1000RRを事前テストで初めてSUGOで走らせた関口は、まずは、もてぎで課題となっていた部分をクリアすべく、車体姿勢を高めにセットして走り出した。走行時間も長かったため、電気や足回りをいろいろ試し、いいところと悪いところを確認。最後にロングランもを行い、走りではアジャストし1分27秒台も数周マークでき、上々のテストとなっていた。



レースウィークに入っても天気はよかったが、気温は上がらなかったが、事前テストからの流れでユーズドタイヤで走り出したが、1分27秒台に入りフィーリングはよかった。2本目には、予選に向けてニュータイヤを履き、感触を確認するが、そのポテンシャルを生かし切れていない状態となっていた。それでもチームで話し合い、セットの方向性は見えて来ていた。



土曜日はレースウィークで一番気温が上がらなかったが、予選では、ユーズドでスタートし、1分27秒354をマーク。セッション終盤にニュータイヤを履きアタックするが、セクターでは自己ベストを記録するものの、クリアラップが取れずにいた。その中で、最後のアタックで1分27秒099と、あと一步で1分26秒台というタイムを記録。セカンドラップタイムは1分27秒276となり、両レースとも12番手グリッドに着けた。



レース1はスタートが決まり1コーナーで1つポジションアップするが、馬の背コーナーで抜き返されオープニングラップは12番手で戻ってくる。その後、序盤は離されたものの、レース終盤にかけて前を走るライダーとの差を詰め、10位争いの集団の後方につける。残り2周となったところで前で転倒があり、一つポジションを上げて11位でチェッカーフラッグを受けた。



レース2は、レース1より4周多い22周で争われた。日曜日は快晴となり、一番気温が上がった。お客さんも例年より多く観戦日和となっていた。

レース2がスタートすると、メーカー直系のチームやサテライトチームと互角の走りを見せ集団の後方につける。3周目には、1分27秒台に入れ、6周目に自己ベストを更新する1分27秒009をマーク。そのまま constants に1分27秒台で周回を重ねていく。岩田選手と津田選手とのバトルとなり、シケインでは2台が接触した際に出前に出て10番手に浮上。最終ラップに岩田選手に抜き返され11位となったが、内容の濃いSUGOラウンドとなった。



いつも応援していただきありがとうございます。今回のSUGOラウンドは、いいレースウィークになりました。決勝中に自己ベストを更新できましたし、もちろんアベレージタイムも上がりました。これも新型BMW M1000RRのポテンシャルの高さがあるからこそだと思います。まだ2レースを戦っただけですが、チームと共にトライしながらM1000RRをより理解して、ポテンシャルを引き出していきたいですね。この後は、鈴鹿8耐テストがあり、準備に追われますが、次戦オートポリスも頑張りますので、引き続き応援よろしくお願いたします。

関口 太郎

